



2004 (平成 16) 年 8 月 3 日

各 位

会 社 名 生化学工業株式会社
代表者名 取締役社長 榎 史朗
(コード番号 4548 東証第 2 部)
問合せ先 取締役経営管理部長 矢倉 俊紀
(TEL. 03-3270-0966)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 5 月 18 日の決算発表時に公表した平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 平成 17 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	10,500	2,400	1,500
今 回 修 正 予 想 (B)	11,100	3,200	1,900
増 減 額 (B - A)	600	800	400
増 減 率 (%)	5.7	33.3	26.7
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月期中間)	10,544	2,507	1,197

(2) 平成 17 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	20,700	4,400	2,700
今 回 修 正 予 想 (B)	21,200	4,900	2,800
増 減 額 (B - A)	500	500	100
増 減 率 (%)	2.4	11.4	3.7
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月期)	20,744	4,065	2,117

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 70 円 48 銭

2. 個別業績予想の修正

(1)平成 17 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）
（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	9,500	2,600	1,600
今回修正予想(B)	9,800	3,100	1,800
増減額(B-A)	300	500	200
増減率(%)	3.2	19.2	12.5
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月期中間)	9,421	2,560	1,334

(2)平成 17 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）
（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	18,600	4,500	2,900
今回修正予想(B)	18,900	5,000	3,000
増減額(B-A)	300	500	100
増減率(%)	1.6	11.1	3.4
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月期)	18,530	4,215	2,381

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 75 円 61 銭

3. 修正の理由

1) 中間期

売上高につきましては、関節機能改善剤の米国向けが、現地販売の順調な推移に加え、販売委託先であるスミス アンド ネフュー社での販売体制の強化に伴う流通在庫の確保により増加する見込みです。また、連結子会社におけるエンドキシン測定受託試験サービスが一時的な伸びを示しています。更に、眼科手術補助剤、医薬品原体の販売を下半期から上半期へ前倒しで行ったこともあり、中間期の売上高は期首予想を上回る見込みです。

利益面につきましては、期首予想と比較して売上増加が見込まれる製品の利益率が高いこと、研究開発費を中心とした経費の支出の遅れなどの要因により、中間期の経常利益は期首予想を上回る見込みです。なお、昨年末の米国における BSE（牛海綿状脳症）発生の影響により、米国産のウシ等由来原材料および当該原材料に関連する棚卸資産のうち、現時点で販売が期待できないと見込まれる 2 億 4 千 1 百万円相当分を廃棄し、特別損失として計上していますが、前述の要因による増益効果でカバーし、中間純利益も期首予想を上回るものと予想します。

2) 通期

中間期における下半期からの前倒し販売は通期では相殺されますが、そのほかの中間期までの増収要因等により、通期の売上高、経常利益、当期純利益ともに、期首予想を上回る見込みです。

* 業績予想に関する留意点

当資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますので、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの将来に関する記述に全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レートの変動などが含まれます。

以上